

令和3年度（2021年度）熊本市勤労青少年ホーム運営委員会 議事録

【開催場所】 書面審議

【発送日時】 令和3年（2021年）12月1日（水）運営委員会資料発送

<p>1. 熊本市勤労青少年ホーム運営委員会委員長及び副委員長の選出 委員7名による互選により、委員長及び副委員長は次のとおり選出 委員長 徳永 洋（熊本学園大学招聘教授） 副委員長 湯本 麗子（熊本市勤労青少年ホーム主催講座講師）</p> <p>2. 令和3年度（2021年度）熊本市勤労青少年ホーム運営委員会の成立について 委員7名中7名の審議をいただいたことから、令和3年度（2021年度）熊本市勤労青少年ホーム運営委員会は成立</p>
報告1 令和2、3年度熊本市勤労青少年ホーム運営状況について 【審議資料2～5ページ及び統計資料】
意見照会事項
<p>当館が実施した事業に関し、ご意見をお願いします。</p> <p>※利用人数等については、令和2年3月以降、新型コロナウイルス感染症の発生及び拡大により、当館の休館等に伴い、主催講座及び貸館業務を中止としたりしたため、大幅に減少しています。</p>
議事1に対するご意見
<ul style="list-style-type: none">・新型コロナウイルス感染症の発生及び拡大により、勤労青少年ホームの主催講座及び貸館業務の中止は、やむを得ないことであったので、その判断は適切であったと思われる。・勤労青少年ホームの使用料をはじめ事業一覧、利用状況等については、特に問題なし。・令和元年度までスポーツ系、文化系とも数多くの講座を主催されており、健康経営の観点からも利用者のニーズを捉えた内容だと思われる。 コロナの影響により、令和2、3年度は休止、中止を余儀なくされたことは致し方ないと思われる。・オンラインと現行の対面方式、両コースの設置を検討されてはどうか・青少年の自己理解を深めたり、健康を考えたメンタルヘルス、心理学等をベースにした講座の創設、オンライン面接等に対応できるような内容を取り入れてはどうか。 <p>（事務局回答） オンライン配信については、動画配信の環境整備や講座の進め方等を、また、職業相談のように個人情報を取り扱う場合は、更に情報漏洩を防止するためのセキュリティ対策も必要となります。 市の関係課や講師の先生方と協議し、費用対効果の視点を踏まえた上で、実現の可能性を検討していきたいと考えます。</p>

また、新たな講座の創設等についても、取り組みができるよう検討していきたいと考えます。

- ・令和2年度、3年度は、コロナで休館であったため、活動再開が望ましい。
- ・新型コロナウイルス感染症が全国、全世界で拡大したことで、講座やサークル活動等の事業が、中止と再開を繰り返し、新型コロナウイルス感染症に振り回された年であった。

リスクレベルによる勤労青少年ホームの利用中止及び再開の連絡がその都度あった事で、スムーズに活動が再開できたので、活動できる環境を整えて頂いていたことに感謝している。

議事2 新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う開館状況の推移について
【審議資料6～8ページ】

意見照会事項

新型コロナウイルスの感染防止のため、令和2年（2020年）3月以降、感染防止対策を講じ、臨時休館と再開を繰り返し、貸館業務を中心に活動を継続しています。当館の新型コロナウイルス感染症対策について、ご意見をお願いします。

議事2に対するご意見

- ・勤労青少年ホームのリスクレベルに応じた開館状況については適切であり、やむを得ないことだったと思われる。
- ・ご利用いただく皆様に対しての利用基準については、きめ細かく定められてあり、適切であった。また、講座ごとの感染対策についても申し分なかったと思われた。
- ・リスクレベルの引き上げ、まん延防止宣言の発令等が相次ぐ中、休館、再開の繰り返しで苦慮されたと考えられるが、講座ごとに対策が講じられており、適切な対応が行われていると思われる。
- ・今後も感染症対策を徹底していれば、感染リスクが大幅に下がり、利用再開につながると思う。
- ・会話をしないで、対応できるものは、人数制限をして開講してもよいと思う。
- ・新型コロナウイルス感染症が不安な場合は、Wi-Fi環境を整えて、講師のみ出講し、受講生はオンラインにしてもいいと思う。
- ・入館時に行っている体調・体温チェックはとても良いと思われる。
- ・新型コロナウイルス感染症が少しずつ減少傾向にあるが、まだまだ油断はできない現状である。

これから人数制限等の緩和を行っていく中で、コロナワクチンの2回、3回接種済証の必要性が高まるのではないかと感じる。

- ・感染源にもなるタオル等をペーパータオルに変更するなどの対策も必要だと感じる。

議事3 運営の課題と今後の方針について

【審議資料9～10ページ】

意見照会事項

運営の課題と今後の方針に関して、ご意見をお願いします。

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う臨時休館及び感染防止対策のため、中止となる可能性もあります。

議事3に対するご意見

・運営の課題については、まったくその通りであり、今後の方針についても「広報の強化と講座内容の見直し」に書かれてあることは適切な方法であると思う。

なお、出来ることならば、コロナ終息状態になったら、あらためて「勤労青少年ホーム」の存在を、新聞社やテレビ局に依頼して、知らせるように働きかけることも必要と思われる。

・県内や全国に「勤労青少年ホーム」や同等の役割を果たす異称の館があるのか？

(事務局回答)

特色のある事業例としては、次のとおりです。

・熊本市（サンライフ熊本）・・・独身勤労者のためのクリスマス婚活、年末調整のポイント講習会等

・鹿児島市勤労青少年ホーム・・・ワンチームプロジェクト（ボランティア活動や講座で学んだ知識、技術を子どもたちに伝える等、個人から募集した企画をチームとして活動）

・新潟県三条市・・・ボランティア活動（まち美化活動、折り紙教室）

・要望のあった新しい講座の開催はよいと考える。

・利用者増加策として、民間のカルチャーセンターを参考にしたらどうか？

・材料費等の自己負担を軽減することで、講座の参加者は増えるのではないかと？

・デジタル化の進展等により、対面を好まない青少年が増えている現状はあるが、「今後の方針」への記載のとおり、まずは、①ニーズを捉えた講座の見直し、②SNS等による情報発信の充実、に取り組まれてはいかかかと考える。

・キャリアアップや自立支援については、一足飛びに利用者を増やすのは困難だと考えられるので、ダイレクトなプロモーションを強化する一方、会館（講座）利用者に取り組みを知ってもらうキッカケづくりも必要と感じる。

・事務局から提案があった「今後の方針」が実現できれば、利用者の減少を抑えられると考える。

・広報に関しては、若年者の方々はほとんどスマホでの情報収集をしていること、興味のあるサイトしか見ないことを考えると、SNS媒体は必須である。

・主催講座やイベントなどの減少により利用者数が年々と減少しており、ホームを長く利用しているものとしては如実に表れていると感じた。短期の主催講座だけではなく、年間を通した講座の開設も検討したらどうか。

・利用者数の減少によるロコミ等の減少や、新型コロナウイルス感染症による活動自粛が長期間になったことで、参加意欲の低下などが生じているため、それを打ち消すためにも、主催講座やサークル活動への興味を持って頂けるよう、SNS等を活用して、情報発信をしていただきたい。

議事4 その他について

※その他、全般的にご意見等ございましたら、ご記入くださいますよう
よろしく願いいたします。

- ・資料を拝見した限りでは、適切な運営がされているので、特に意見等はない。
- ・上記「議事3」の最後に書いたことを調べていただき、全国でも少ない、名称と活動・運営であれば、その事がPRの強みとなり得るかと思われる。(新聞社やテレビ局からの取材のテーマともなり得る)。
- ・DX、ITの進展により、会社内でのコミュニケーションが希薄になることを懸念している。青少年のキャリアアップ、自立支援等、今後も求められる役割は大きいと思われるので、引き続き、事業の継続をお願いしたい。
- ・自分の所属する団体にも広報したいと考える。
- ・今だからこそ、勤労青少年ホームでできることを一緒に考えていけたらうれしい。